新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～１月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。

ゆきがたくさんふっていた。わたしの手のひらにもつもるのかなとおもったら、とけて水になった。ふしぎだな。
（１年女子）

ふくをいっぱいきてそとに出ると、さむくないのに、あしのつまさきだけがつめたい。びっくりした。（１年女子）

ゆきだるまをゆくったら、ゆきだるまがつくりやすいゆきと、つくりにくいゆきがあった。ふしぎだな。
（１年男子）

ほとんどの木は、冬になるとはだかんぼになるけれど、冬になっても葉っぱがついている木もあるんだな。
（２年女子）

雪をよく見ると、花のような形をしていた。あつめたら、小さなお花ばたけのようになって、きれいだった。（２年女子）

はつもうでで、神さまの前に行くと、少しだけきんちょうした。空手大会の前のように、ピリッとした。ふしぎだな。（２年男子）

あたらしいいえにいったら、はしらからパチ、バキッと、おとがきこえた。木も生きているのかな。（１年男子）

寒い日に、おふろに入ったら、上のほうはあつたかかったが、下の方はぬるかった。ふしぎだな。
（２年男子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第７号　　R3. 1. 14